

令和6年上半期分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年上半期分について、輸出額は「自動車の部分品」などが減少したものの、「自動車」、「石油製品」などが増加したことから対前年同期比19.9%の増加となった。また、輸入額は「石炭」、「液化天然ガス」などが減少したものの、「原油及び粗油」、「石油製品」などが増加したことから、同6.1%の増加となった。

その結果、差引額は6,335億円（同3.7%の減少）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	5,537億円	+19.9%	1兆1,872億円	+6.1%	▲6,335億円	▲3.7%
	2期連続の増加		3期ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)自動車	756億円	+72.7%	輸入	増加品目	(1)原油及び粗油	6,854億円	+12.1%
		(2)石油製品	537億円	+33.7%			(2)石油製品	462億円	+17.9%
		(3)写真用・映画用材料	120億円	+66.1%			(3)有機化合物	173億円	+43.0%
	減少品目	(1)自動車の部分品	443億円	▲7.6%		減少品目	(1)石炭	267億円	▲61.2%
		(2)金属加工機械	3億円	▲83.5%			(2)液化天然ガス	1,603億円	▲11.3%
		(3)原動機	88億円	▲10.4%			(3)その他の採油用種子	60億円	▲21.7%
	地域別動向	西欧、アジアが増加、中南米は減少				地域別動向	中東、アジアが増加、大洋州は減少		

（参考）ドルレートは、150.89円（前年同期比12.5%、16.81円の円安）であった。

（注）令和上半期分のドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。